

皆様こんにちは、GKデザイングループです。うらかな春の到来に、こころはずむ季節となりました。今月もGKデザイングループの取り組みや話題をお届けします。

NEWS



愛称は「Urara」に、JR西日本227系500番台新型車両・ロゴマーク公開

JR西日本、岡山・備後エリアに導入予定の227系近郊形直流電車の愛称が、約1200通の一般公募の中から「Urara（うらら）」に決まり、合わせて車両が公開されました。愛称ロゴマークや車両カラーなどのデザインを、GKデザイン総研広島が担当しています。車両のデザインコンセプト「豊穣の彩（ほうおんのいりどり）」に込めた穏やかで柔らかなイメージと、Uraraの音の響きやゆらぐ陽光のゆったりした雰囲気表現。またエリアブランディングの一環として、岡山都市圏の在来線10路線を束ね、岡山の頭文字「O」や晴れの国の太陽を連想するシンボルマーク「JR CITY NETWORK OKAYAMA」も新たにデザインし、沿線地域の方々に長く愛される車両を目指しています。うらかな春を迎え、新しい顔が走り始めるのももうすぐです。

→ [JR西日本ニュースリリース](#)

未来へ継承される美意識とは
企画展示「〈新考故覧〉ヤマハモーターデザインのロジック」

ヤマハ発動機株式会社の企業ミュージアム「コミュニケーションプラザ」（静岡県磐田市）で、連続企画展が開催されています。ヤマハ発動機のデザインに脈々と息づく過去から未来へ託す意志。それらを来館者と分かち合うために、「故（ふる）きを覧（み）、新しきを考える」を表す故事「新考故覧」をテーマに据え、今回はモーターサイクルに焦点を当てた「継承される美意識」を紹介しています。GKダイナミックスが企画協力を行い、第1号機「YA-1」（1955）や最新の「XSR900」（2022）などの実車展示とともに、デザインに込められた意図や背景が解説され、修復により美しく蘇った当時の1/1スケールのスケッチなどがご覧いただけます。また、5月には、多くのヤマハ発動機の製品デザインを手掛けた一條厚氏（株式会社GKダイナミックス元代表取締役社長）の講演会を計画中です。

→ [ヤマハ発動機 コミュニケーションプラザ企画展示](#)

アメリカで受け入れられるデザイン
GK Design Internationalが講師をつとめた、JETROロサンゼルス主催の催しが開催

日本の食品企業を対象に、米国向け食品パッケージデザインの説明会と相談会（JETROロサンゼルス事務所主催）がオンラインにて開催されました。説明会では、アメリカを拠点に活動する、創立50周年を迎えたGK Design Internationalの日本人デザイナーが、「アメリカで受け入れられるデザイン～文化と価値の多様性に挑む～」をテーマに講演。事例を用いて両国の食品パッケージデザインの違いとその背景などを解説した上で、日米間マーケットの可能性を「デザインで拓いてゆく」視点に立ってお話をさせていただきました。参加申込み数は約500名を超える盛会となり、開催後も多くの反響をいただいております。また、後日の相談会では、アメリカでの展開を考える日本食品企業へデザインのコンサルティングアドバイスを行いました。日本企業のポテンシャルを活かす一助となれば幸いです。

→ [GK Design international Webサイト](#)

最新情報はFacebookにて配信しております。今後ともGKデザイングループをよろしくお祈りします。



本メールはメールマガジン配信を希望されている方と、過去に名刺を交換させていただいた方に配信しております。今後配信を希望されない場合は、お手数ですがこちらより配信停止の手続きをお願いいたします。